

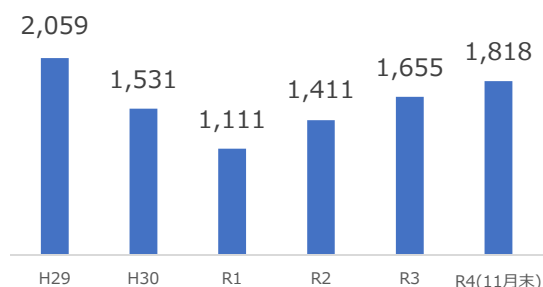
安全安心なサイバー空間の確保

現状と課題

《現状》

- デジタル化等の進展により、サイバー空間が全県民が参画する公共空間へと進化
- 国内医療機関等におけるランサムウェア感染被害が発生し国民生活への影響が深刻化
- SMS等を利用して偽サイトに誘導し、個人情報等を窃取するフィッシングが日常的に発生

サイバー関連相談件数（県内）



《課題》

- 専門人材の確保等を始めとしたサイバー事案への対処体制の更なる充実強化
- 部門一体となったサイバー事案に対する厳正な取締りと被害防止対策の推進
- 効果的な広報啓発活動による県民・事業者等の自主的な被害防止対策の促進
- 関係機関・団体、ボランティア等と連携した被害防止対策の更なる推進

推進事項と主な取組施策

1 体制及び人的・物的基盤の強化

- ① 優秀な人材の確保及び育成と職員全体の対処能力の向上
- ② 資機材の充実強化
- ③ 警察における情報セキュリティの確保等

2 実態把握と社会変化への適応力の強化等

- ① 通報・相談への対応強化による実態把握の推進
- ② 実態解明と実効的な対策の推進
- ③ 国際連携の推進

3 部門間連携の推進

- ① 事案認知における部門間連携
- ② 捜査における部門間連携
- ③ 被害防止対策における部門間連携

4 官民連携の推進

- ① 産学官の知見を活用した対策の推進
- ② 民間事業者等における自主的な被害防止対策の促進
- ③ 民間事業者等と連携した犯罪インフラ対策の推進
- ④ 地域において活動する多様な主体との連携